

## 社会資本総合整備計画 事後評価書

令和07年10月06日

計画の名称	中心市街地の再生											
計画の期間	令和02年度～令和06年度（5年間）											重点配分対象の該当
交付対象	茂原市											
計画の目標												
全体事業費（百万円）	合計（A + B + C + D）	522	A	522	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A + B + C + D)	0 %

番号	計画の成果目標（定量的指標） 定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		(R2当初)	(R4末)	(R6末)
1	国道128号と茂原駅を連絡する幹線道路の渋滞長を5%短縮する。 主要な交差点の渋滞長を調査し、渋滞長の減少割合を算出する。 (渋滞減少率) = (R2当初渋滞長 - 評価時点の渋滞長) / (R2当初渋滞長) (%)	720m	700m	680m
2	地元商店街の来街者数を5%増加させる。 地元商店街の日当り来街者数を調査する。 (地元商店街の来街者数の増加率) = (評価時点の日当り来街者数 - R2当初の日当り来街者数) / (R2当初の日当り来街者数) (%)	570人	580人	600人

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靭化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-

A 基幹事業																						
基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）		全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況						
		一體的に実施することにより期待される効果																				
		備考																				
市街地整備事業	A13-001	市街地	一般	茂原市	直接	茂原市	-	-	茂原駅前通り地区土地区 画整理事業	都市再生土地区画整理 10.7 ha	茂原市					522	未策定					
																522						
																522						

## 事後評価

### 事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制

茂原市都市建設部都市整備課にて事後評価を実施

事後評価の実施時期

令和7年度

公表の方法

茂原市ホームページにて公表

### 事業効果の発現状況

定量的指標に関連する  
交付対象事業の効果の発現状況

事業進捗の遅れにより目標値には届かなかったものの、当該地区画整理事業の施行により近隣幹線道路の渋滞長の短縮、利便性の向上による来街者数の増加が図れたものと考える。

定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況（必要に応じて記述）

当該地区画整理事業の施行に伴う老朽化した建物等の解体、新建築物の増加、道路の新設等で景観上の改善が図られている。

### 特記事項（今後の方針等）

引き続き社会资本整備総合交付金を活用し、当該事業の進捗を図っていく。

目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因	
1	国道128号線と茂原駅を連結する幹線道路の渋滞長を5%短縮する。		
	最終目標値 680m		
2	地元商店街の来場者数を5%増加させる。		
	最終目標値 600人	事業進捗の遅れにより、都市施設の更新及び土地の活用が進まなかつたため。	